

測定項目	概要
身長	デジタル身長計にて身長を計測する。
身体組成 (InBody)	Inbody770にて、体重、体脂肪率、筋量等の計測を行う。
筋厚・皮脂厚 (超音波法)	超音波画像診断装置により、左右大腿部前面後面、上腕部前面後面の筋厚、皮脂厚を計測する。測定は、専用ジェルを専用プローブに塗り、表皮に軽くあてる。
等速性膝関節筋力 (Biodex)	Biodexを用いて、等速性の膝関節伸展、屈曲筋力を角速度 60 度/秒および 180 度/秒で計測する。
跳躍力 スクワットジャンプ カウンタームーブメントジャンプ リバウンドジャンプ	MultiJump Tester (DKH 社製) を用いて跳躍力の測定を行う。選手は、専用マット上で、膝関節 90 度の姿勢から、反動なしの跳躍 (スクワットジャンプ)、立位で手を腰に当てたまま反動を使つての跳躍 (カウンタームーブメントジャンプ)、立位で手を腰に当てたまま連続して、足関節中心の跳躍 (リバウンドジャンプ) の 3 種類の測定を行う。
全身反応時間	全身反応測定器 (竹井機器) を用いて全身反応時間の測定を行う。選手は、専用マット上に立ち、前方の測定器が光ったら、素早くジャンプする。光ってから選手がジャンプするまでの時間を計測する。
骨量 (超音波法)	超音波骨密度測定装置 (日立製作所) を用いて、踵部の骨密度を計測する。測定器のゴム状のメンブレンに超音波用の専用ジェルを塗り、2 秒ほど軽く踵部をメンブレンで圧迫する。
最大無酸素パワー (パワーマックス)	Power Max VIII (コナミスポーツライフ) を用いて、最大無酸素パワーを測定する。全力の自転車漕ぎ運動を 3 種類の異なる負荷で 10 秒間行う (休息时间 120 秒)。測定前に、十分な練習を行い、セット間にも測定に伴う痛みや特別な不快感がないか確認する。
最大酸素摂取量 (トレッドミル)	トレッドミル (S&ME) を用いて、漸増負荷法での最大酸素摂取量を測定する。呼気ガスは、VO2000 (S&ME) を用いる。呼気ガスマスク、心拍計、安全ベルトを装着の上で測定を実施する。走行中、不快感があった場合には、速やかに意思表示し、測定を中断できることを確認する。
※最大無酸素パワーおよび最大酸素摂取量は、アスリートがどちらか一方を選択する	